

第5回公開講座「外国人の増加に対応する地域国際戦略研修会」を開催しました

2月26日（火）、青森県観光物産館アスパムにおいて「外国人の増加に対応する地域国際戦略研修会」を開催し、自治体関係者や国際交流団体のスタッフ、日本語教育へ関心のある方など、60名を超える方々にご参加いただき、講師による基本解説や、当協会職員等による状況報告などを行いました。

基本解説では、青森大学の石塚ゆかり准教授より、外国人への日本語指導人材の養成についてご講演いただきました。外国人労働者や外国籍児童数の増加が見込まれる現状を踏まえ、青森県での日本語指導人材の確保が必要であり、法務省告示基準に則した養成プログラムを開設することで、スキルアップやモチベーションアップにつながるものであるとの解説がされました。

青森県観光国際戦略局からは、来年度からの当協会国際交流ラウンジでの在住外国人からの問い合わせ対応について、適切な機関へ「つなぐ」ことを目的に柔軟に対応していく予定であると説明され、国際交流ラウンジ運営サポーターより、山形県での外国人相談窓口における取組について、外国人が抱える問題は地域の問題であることや、相談を受ける上での注意点等を、事例を交えて報告しました。



研修会の様子

また、災害時の外国人対応として、総務省が行った「災害時外国人支援情報コーディネーターを養成するための研修」を受講した職員は、青森県の状況に合わせた体制づくりの構築、外国人住民を交えた災害に対する研修や防災訓練の実施、そして災害時の広域的な連携の必要性を説明しました。

当協会常務理事からは、国際交流協会の在り方、国際交流と外交の違いや国際協力事業の必要性、そして外国人を地域で受け入れ見守っていくことが多文化共生の理想であるという説明がされました。

研修参加者アンケートにいただいたご意見より、いくつかご紹介します。

- ＊ 青森県在住外国人の実態を把握することが第一である。実態も地域ごとの異なる特性があること、実態をつかめなければニーズに対応できない可能性があると思いました。
- ＊ 地域レベルで多文化共生を実現するには、行政の関与が必須だと思います。研修会をシリーズ化し、やさしい日本語の体験等も実際に行ってみることで、より具体的な方法について体感し、理解を深め積極的にこの課題に行政に取り組んでもらうきっかけになるのではと思いました。
- ＊ 三沢市は土地柄外国人の支援、ボランティアに関心のある方もいると思うので、サポーター養成講座等を広く周知していきたいと思いました。

本公開講座にご参加いただきました皆様、ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。

国際交流ラウンジ運営サポーターだより

●12月20日（木）、「平成30年度A I R Y外国人相談窓口担当者研修会」に参加しました

（公財）山形県国際交流協会主催による研修は、「多文化社会に対応する相談窓口のあり方」をテーマとして、（公財）兵庫県国際交流協会でスペイン語相談員を務めている村松紀子氏が講師をつとめ、相談窓口における外国人からの相談事例をはじめ、相談員に求められる技術や多様な対応などについて講義を進めました。またグループワークとして、参加者自らが相談員となった場合を想定した話し合いもしました。

これからの地域国際化協会が担う役割は、外国人からの相談に対し、関係機関と効率的な連携を図ることという話が心に残りました。

最近は旅行ではなく、仕事のために日本にやってくる外国人も増えているようです。外国人は特別な人ではなく、すぐそばに暮らすお隣さんです。よその国からやってきた人たちが快適に暮らせるよう、どんな手助けができるか考えていきたいものです。

第4回公開講座『「やさしい日本語」について学びましょう』を開催しました

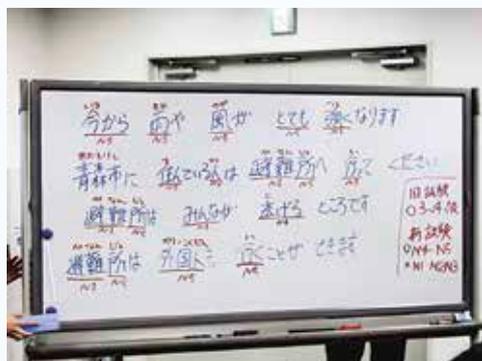
1月28日（月）、青森県観光物産館アスパム6階会議室「八甲田」にて、第4回公開講座『「やさしい日本語」について学びましょう』を開催し、県内の日本語学習支援団体メンバーや当協会ボランティア、教育関係者など、25名の皆様にご参加いただき、弘前大学人文社会科学部社会言語学研究室のご協力を得て開催しました。

研究室ゼミ生が中心となり、前半は「やさしい日本語」ができたきっかけや特徴などの概要説明、社会言語学研究室のホームページと「やさしい日本語」の教材をご紹介します。

後半は文章を作成する際のルールやポイント等を、「やさしい日本語」にするための12の規則にそってご指導いただいたあと、演習として実際に例題を「やさしい日本語」に言い換えました。グループで発表した後はゼミ生より解説をしていただきました。



研修会の様子



やさしい日本語で文書作成

また、今回の研修会では質疑応答が大変盛んに行われ、参加者のやさしい日本語に対する意識の高さが窺えました。

研修参加者からいただいたアンケートには、

- * 普段から意識して使うことが大事
- * もっと多くの人たちに聞いてほしい
- * 様々な視点で言語について考えるきっかけになった
- * 講義は研究の成果が出ていて有意義でした
- * 「やさしい日本語」が広まり、汎化され浸透するといい
- * すばらしい研究内容でした。これからも頑張ってください

など、講義についての感想のみならず、激励のお言葉もいただきました。

研修会の最後には研究室の佐藤和之教授よりご挨拶をいただき、その中で『「やさしい日本語」とは、日本人が一番得意な「外国語』』とのコメントに頷く参加者が多く見受けられました。来年度は研究室や自治体との共催により、「やさしい日本語」を活用しての外国人を対象とした防災訓練を行うことを予定しています。

本公開講座にご参加いただきました皆様、ご協力いただきました弘前大学人文社会科学部社会言語学研究室の皆様、誠にありがとうございました。



佐藤教授から総括コメントをいただきました

募集しています

■ 賛助会員 supporting member

国際交流・協力に関する事業に、できるだけ多くの皆様のご理解、ご協力をいただきたく、賛助会員の募集を行っております。
Donations from supporting members are spent on our activities to promote international cooperation.

■ 国際交流ボランティア volunteer

国際交流活動に参加するボランティアを募集しています。

People who are interested in internationalization are invited to participate in our volunteer program.

お問い合わせ・お申し込みは、青森県国際交流協会まで。TEL : 017-735-2221 E-mail : info@kokusai-koryu.jp

弘前大学人文社会科学部社会言語学研究室より 「やさしい日本語」に関する資料をご寄贈いただきました

研究室の佐藤教授より、「関心を寄せる県民の方々がやさしい日本語を作成することができるようになっていただければ」との思いから、作成に役立つ資料一式を寄贈いただきました。いただいた資料はアスパム2階「グローバルラウンジ」にて閲覧、貸出しを行っています。

「やさしい日本語」の文章作成にはいくつかのルールやポイントがあり、災害時に突然作成することはなかなか難しいものです。ぜひ、「やさしい日本語」のガイドラインや案文集などを活用して、「やさしい日本語」の文章作成について学んでみてはいかがでしょうか。

また、資料は研究室ホームページからダウンロードすることができますが、**2020年1月17日に閉鎖**される予定となっており、閉鎖後は閲覧・ダウンロードは一切できなくなりますので、ご希望の資料がある方はお急ぎください。

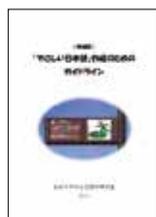
* ご寄贈いただいた資料一覧 *



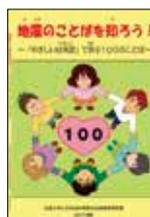
「やさしい日本語」が
外国人被災者の命を救います。
(2017年7月二刷)



【増補版】
災害が起こったときに
外国人を助けるためのマニュアル
(2013年3月増補)



<増補版>
「やさしい日本語」作成のための
ガイドライン
(2013年3月増補)



地震のことばを知ろう！
～「やさしい日本語」で学ぶ
100のことば～
(2017年10月改訂)



【改訂版】
生活情報誌作成のための
「やさしい日本語」用字用語辞典
(2017年3月改訂)



生活情報誌作成のための
「やさしい日本語」ガイドライン
～街の外国人に生活情報を伝える
ために・カテゴリーⅡ～
(2017年3月発行)



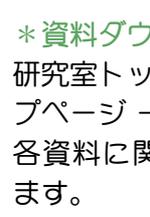
さくさく作成！「やさしい日本語」
を使った緊急連絡のための案文集
～災害時における学校や自治体
からのお知らせ編～
(2015年3月発行)



さくさく作成！「やさしい日本語」
を使った緊急連絡のための案文集②
～災害時におけるスマートフォン
メールでの連絡編～
(2017年3月発行)



「やさしい日本語」で表現する
カタカナ外来語・アルファベット
単位記号用語辞典
(カテゴリーⅠ対応)
(2018年3月発行)



*** 資料ダウンロード**
研究室トップページ → 「やさしい日本語」トッ
プページ → 「やさしい日本語目次」ページ →
各資料に関するページよりダウンロードでき
ます。



* 弘前大学人文社会科学部社会言語学研究室ホームページ (2020年1月17日閉鎖予定)
URL : <http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/index.html>

長期予報では暖冬と言われていましたが、積雪が多くて気温が低い厳しい冬がようやく終わり、春を迎えます。今年の桜前線は北上が早まる予報で、4月下旬には、県内各地の桜の名所で「お花見」を楽しむことができるようです。

「お花見」を目的に来日する外国人観光客も増加していますので、今回は「弘前公園総合情報」サイトに掲載されている「お花見の楽しみ方」のページを参考に、「お花見の注意点」を災害時に外国人にもわかる日本語表現で情報を伝えるカテゴリーⅠに分類される「やさしい日本語」へ、「お花見にはこれを持って行けばOK!」を日本に住む外国人向けの生活情報誌に使えるカテゴリーⅡの「やさしい日本語」へ言い換えし、弘前大学人文社会科学部社会言語学研究室の皆様にご監修いただきました。

★災害時に外国人にもわかる日本語表現で情報を伝えるカテゴリーⅠに分類される「やさしい日本語」へ言い換え

<p>●お花見の注意点</p>	<p>●お花見をするときは 次のことに 気をつけて ください</p>
<p>花見に参加する人数を考慮して場所取りをするようにします。場所を欲張らずに、必要最小限のスペースだけ確保しましょう。</p>	<p>たくさんの人桜の花を見に来ます 座って 見るところを 広くしないで ください</p>
<p>臨時駐車場も設置されますが、祭り期間中は弘前公園周辺の道路が大変混み合いますので、公共交通機関なども活用しましょう。</p>	<p>車が たくさん 来ます 道を 通ることが できないかもしれません 車を 止める ところを 見つけることが できないかもしれません みんなが 使うことが できる バスや 電車に 乗って 来て ください</p>
<p>桜の木にとって、地面の浅い根の部分は力の源になっています。 根が傷付く事は、花が枯れてしまう危険性があります。</p>	<p>木の 下に 座らないで ください 木の 下に 座ると 木が 弱くなるかもしれません 木を 折らないで ください 花を 取らないで ください</p>
<p>周囲のお花見客の他、近隣住民の方々がいる事を忘れずに周囲に迷惑をかけないようにしましょう。</p>	<p>周りの人が 嫌なことを しないで ください 大きな 声を出さないで ください</p>

★日本に住む外国人向けの生活情報誌に使えるカテゴリーⅡの「やさしい日本語」へ言い換え

●お花見に 行くとき 持っていく もの		
<p>レジャーシート<敷くもの></p>		<p>地面に 敷いて 座るものです。 必要な 広さのものを 準備して ください。</p>
<p>たんで 小さくすることができる 椅子 座布団</p>		<p>地面は 硬いです。 お年寄りや 子供は、地面に 座ると 疲れます。</p>
<p>弁当<食べ物> 飲み物</p>		<p>お花見は 桜の花を見ることです。 お花見は 食べたり 飲んだりして 楽しめます。</p>
<p>割り箸<使ったら 捨てる 箸> 紙コップ<使ったら 捨てる コップ> 紙皿<使ったら 捨てる 皿></p>		<p>使ったら 捨てる もの、ゴミの 袋へ 入れます。 ゴミを 持って、家へ 帰って ください。</p>
<p>ゴミの 袋</p>		<p>ゴミを 入れる 袋です。 燃える ゴミと、燃えない ゴミに 分けて ください。</p>
<p>ティッシュペーパー</p>		<p>薄くて 柔らかい 紙です。 ティッシュペーパーは 乾いた 紙です。 汚れたものを きれいに するものです。</p>
<p>ウェットティッシュ</p>		<p>薄くて 柔らかい 紙です。 ウェットティッシュは 濡れた 紙です。 手や 体を きれいに するものです。</p>
<p>暖かい 服や、 毛布</p>		<p>桜の 木の 下は 寒いです。 寒いときは 服を たくさん 着て ください。 体を 暖めて ください。</p>

*引用元:「弘前公園総合情報サイト」(サイト管理者:㈱コンシス様)を参考にさせていただきました。 URL : <https://www.hirosakipark.jp/>



このページは、弘前大学人文社会科学部社会言語学研究室にご協力いただきました。
*弘前大学人文社会科学部社会言語学研究室ホームページ(2020年1月17日閉鎖予定)
URL : <http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/index.html>

「やさしい日本語」に関連するホームページをご紹介します

* やんしす (YAsashii Nihongo Slen System)



「やさしい日本語」を記述するための補助を行うソフトウェアを紹介・提供しています。

入力された文について、外国人に代わって「どこがわかりにくい」を指摘します。できるだけ指摘が少なくなるように文を書き換えていけば、最終的に「やさしい日本語」ができるという仕組みです。

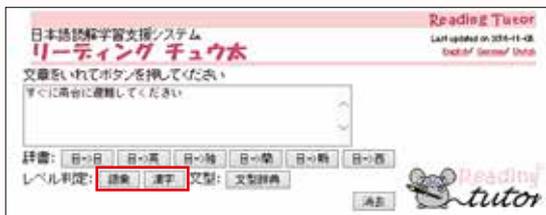
URL :

<http://www.spcom.ecei.tohoku.ac.jp/~aito/YANSIS/>
(パソコン用)

URL :

https://play.google.com/store/apps/details?id=util.ejadvisor3app&hl=en_US
(Android版/Google Play)

* リーディング チュウ太



日本語の読解に役立つ各種のツールと教材を統合した学習支援サイトです。

日本語能力試験を基準にしており、ウェブ画面上のテキストボックスに文章を入力し、レベル判定の「語彙」をクリックすると単語の難易度、「漢字」をクリックすると漢字の難易度を判定します。

URL : <http://language.tiu.ac.jp/>

* 多言語生活情報／一般財団法人自治体国際化協会

外国人の方々が日本で生活するための情報を、やさしい日本語を含む15の言語で提供しています。

URL : <http://www.clair.or.jp/tagengorev/eja/index.html>

* NEWS WEB EASY /NHK日本放送協会

外国人の皆さんや、小学生・中学生の皆さんのために、わかりやすいことばでニュースを伝えます。

URL : <https://www3.nhk.or.jp/news/easy/>

他にも「やさしい日本語」を活用して情報発信している自治体や様々な団体による事例が、弘前大学人文社会科学部社会言語学研修室ホームページの「やさしい日本語」に対する社会的評価のページで、地域別・目的別・媒体別に紹介されています。



* 弘前大学人文社会科学部社会言語学研究室ホームページ (2020年1月17日閉鎖予定)
「やさしい日本語」に対する社会的評価

URL : <http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/EJ8syakaitekijyouka.top.html>

JICA

トピック

topic

JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト 2018表彰式&JICAボランティア体験談発表を 開催しました

2月10日(日)、青森県男女共同参画センター“アピオあおもり”において「JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2018表彰式&JICAボランティア体験談発表」を開催しました。

このコンテストは、次の世代を担う中学生・高校生を対象に、開発途上国の現状や日本との関係について理解を深め、国際社会の中で日本、そして自分たち一人ひとりがどのように行動すべきかを考えることを目的として実施しており、今年のテーマは『世界の人々と共に生きるために～私たちの考えること、出来ること～』です。



受賞作品を朗読

青森県からは767件の応募があり、個人賞に4名、学校賞に6校が選ばれ、表彰式には個人賞受賞者2名と、特別学校賞受賞校である松風塾高等学校の関係者のみなさまにお集まりいただきました。

表彰式では、所長賞を受賞した若狭さんが、受賞作品を朗読し、衣類の寄付という行動をきっかけとして、今の自分にできる小さなことをひとつずつ重ねていくことが、世界の課題の解決につながっていくという信念を伝えてくれました。

続いて、青年海外協力隊経験者である奥山美沙さんが、ソコモンでの数学教師としての経験を話しました。現地の人や生徒たちに支えられ、充実した2年間を過ごした経験から、日本の家族や友人の存在に改めて感謝し、国外に出て青森を見つめてみると、その良さがひしひしとわかるというお話を、参加者は熱心に聞いていました。

お集まりいただいたみなさま、ありがとうございました。また、受賞されたみなさま、おめでとうございます。

* 青森県の受賞者・受賞校



受賞された皆さんとともに



協力隊経験者の体験談発表

<p><中学生の部></p> <p>●独立行政法人東北センター所長賞 若佐心音さん(今別町立今別中学校)『小さなことから』</p> <p>●青森県青年海外協力協会会長賞 佐藤那奈さん(八戸市立白銀南中学校) 『私だって、できること』</p>	<p><高校生の部></p> <p>●独立行政法人東北センター所長賞 林士真さん(青森県立三沢高等学校) 『子供に仕事と学校を一世界の幸せのために私たちができること』</p> <p>●青森県青年海外協力協会会長賞 祐川実夕さん(青森県立田名部高等学校)『養護教諭が世界を変える』</p>
<p><学校賞></p> <p>●特別学校賞 大和山学園松風塾高等学校 青森県立田名部高等学校</p>	<p><学校賞></p> <p>●学校賞 板柳町立板柳中学校 / 八戸市立白銀中学校 八戸市立白銀南中学校 / 青森県立八戸北高等学校</p>

JICA

JICA東北からのお知らせ

●2019年度JICA東北・JICA二本松教師海外研修 参加者募集



JICAでは、国際理解教育・開発教育に関心のある小・中・高等学校や、特別支援学校等の先生方を対象とした研修プログラムを実施しています。

開発途上国の置かれている状況、日本との関係や国際協力への理解を深め、次世代を担う児童・生徒の教育に役立てていただくことを目的とし、2019年度は、アフリカのタンザニア連合共和国を訪問予定です。

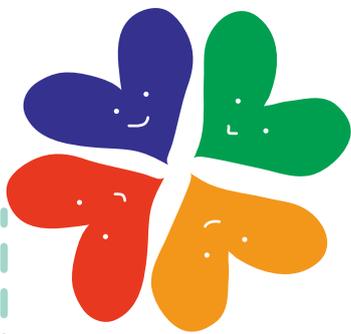
詳しくは募集要項をご覧ください。JICA東北の教師海外研修担当までお問い合わせください。応募締切りは5月7日(火) JICA東北必着です。

* JICA教師海外研修ホームページ : <https://www.jica.go.jp/tohoku/enterprise/kaihatsu/kaigaikenshu/>



JICA東北

募集期間を問わず、ご質問やご相談をお受けしております。TEL:022-223-4772 FAX:022-227-3090
E-mail: jicathic-jv@jica.go.jp ホームページ: <https://www.jica.go.jp/tohoku/index.html>
JICA東北公式facebook: <https://www.facebook.com/Jicatohoku/>



青森から世界へ ~JICAボランティア活動報告~

青年海外協力隊 2018年度 1次隊 ガボン共和国

久米田 麻衣 (弘前市出身：臨床検査技師)

Bonjour (ボンジュール) !!

私が派遣されているガボン共和国と、協力隊の活動についてご紹介いたします。

ガボン共和国は中央アフリカの赤道直下に位置し、国土の8割が森林で覆われており、ゾウやゴリラなどの野生動物が多数生息する自然豊かな国です。

産油国のためアフリカ諸国の中でも所得水準が高く、首都のリーブルビルを中心に立派な道路や建物が立ち並び、電気や水道設備、インターネット環境などもしっかり整備されていますが、少し奥まった地域に行くと、未舗装の道路や、水道の無い家なども見られます。生産業が弱く、多くの食料品や日用品は輸入のため値段が高く、特に野菜は日本よりも高いものがほとんどです。



マニョック

食事はフランスパンが安く、露店でフランスパンのサンドイッチを買って食べる人をよく見ます。他には伝統食としてキャッサバ芋を発酵させた“マニョック”という酸味のある餅のようなものがあります。

気候は熱帯雨林気候のため高温多湿で、肌のべたつきとカビとの戦いの日々です。既にスーツがカビの犠牲になりました…。

移動は主にタクシーですが、乗るためには値段交渉などの技術が必要で、赴任から半年経った今でも苦手です。

私は臨床検査技師としてガボン国立輸血センターに配属され、輸血医療の安全性の向上を目指して活動しています。

センターは、献血、血液製剤の検査と製造、血液製剤と患者さんの適合性の検査を行っていて、日本でいうと「赤十字社」と「病院」が合体したような施設です。活動開始から半年間は全部署を巡回し、問題点とその解決策の考案をしています。



職場での久米田さん

ガボンには輸血を専門にする医師や技師がいないため、他国から教わった知識や技術が更新されないままの状態であり、「安全な輸血」とは言い難い現状です。幸いなことに、やる気に満ち溢れた勤勉な職員が多いため、残りの1年半の任期で検査技術のレベルと知識の向上、献血者不足の解消のための広報活動の充実を図る活動をする予定です。

輸血で救える命を一人でも多くしたいという目標を、センター職員と共に実現させていく日々を大切に活動していきます。



首都リーブルビルの風景



ガボン国立輸血センターでの献血の様子

三沢基地内大学県民就学推進事業

●三沢基地内大学説明会参加者募集!

三沢基地内にはメリーランド大学・トロイ大学院の2大学があり、日本人も就学することができます。

三沢基地内大学への就学をお考えの方、ご興味のある方のご参加をお待ちしております!

■日時: 2019年4月13日(土) 13:00~16:00

■場所: 三沢市総合社会福祉センター2階
三沢市幸町3丁目11-5

■内容: 応募方法の説明、大学概要説明、大学現役就学生及び関係者によるパネルディスカッション(大学生生活等について)、質疑応答など

■申込方法: ①お名前②ご住所③お電話番号④希望大学を、郵便・FAX・メールのいずれかで当協会までお知らせください。『説明会参加希望』と明記してください。

■申込締切: 2019年4月12日(金)まで

●TOEFL ITP試験のお知らせ

三沢基地内大学就学希望者(メリーランド大学ブリッジコース)及び就学生を対象に、TOEFL ITP試験を実施いたします。

■日時: 2019年5月19日(日) 13:00~16:00

■場所: 三沢市国際交流教育センター
三沢市大字三沢字園沢230-1

■受験料: 4,590円(振込みに係る手数料はご負担願います。)

■申込締切: 2019年4月18日(木)

※申込方法などの詳細につきましては、当協会までお問合せください。
※最低申込み人数に満たない場合、試験が実施できないことがあります。

*協会ホームページでもご案内しています。

三沢基地内大学案内ページURL:

<http://www.kokusai-koryu.jp/business/misawa/guidance/>

青森県内の国際交流事業・イベント紹介

●八戸市(市民連携推進課国際交流グループ)

*第60回 外国人による日本語弁論大会

市制施行90周年を記念し八戸市で開催されます!(東北初開催)

■日時: 2019年6月1日(土)午後1時開始

■会場: 八戸市公会堂(青森県八戸市)

■入場料: 無料

■お問合せ先: 八戸市市民連携推進課国際交流グループ TEL: 0178-43-9257 / E-mail: renkei@city.hachinohe.aomori.jp

■大会の詳細や応募方法はこちら / Taking Applications for Speech Contest:

website: <https://www.city.hachinohe.aomori.jp/index.cfm/12,123345,74,html>

The 60th International Speech Contest in Japanese

■ June 1st (Sat), 2019 1:00 PM start

■ Hachinohe City Public Hall

■ Free admission



●ニーハオサークル

*ニーハオ中国語教室(31期)

■期間: 2019年4月10日~9月9日(各教室:全17回)

※10月~3月も開講予定です。

■受講料: 12,000円 ※別途テキスト代として1,400~2,300円

■定員: 各教室10名

※申込者の少ない教室は開催しないこともあります。

■講師: 王钰(ワンユ)さん他

■お申込み・お問合せ先: 事務局 会長 松江さん

TEL: 080-5748-4884 E-mail: motomuma@ybb.ne.jp

級	曜日・時間	開催場所
入門	月曜日 9:10~11:30	市民参画センター(元寺町)
	金曜日 19:10~20:40	ヒロコ多世代交流室(駅前町)
初級	火曜日 13:30~15:00	ヒロコ多世代交流室(駅前町)
	金曜日 19:10~20:40	ヒロコ多世代交流室(駅前町)
	土曜日 19:20~20:50	南富田町体育センター
中級	月曜日 9:10~10:40	市民参画センター(元寺町)
	月曜日 10:50~12:20	市民参画センター(元寺町)
	火曜日 10:00~11:30	市民参画センター(元寺町)
	金曜日 19:10~20:40	ヒロコ多世代交流室(駅前町)
	土曜日 18:00~19:30	南富田町体育センター

●青森日本語クラブ

*日本語教室(全34回)

日本語を楽しく学んでみませんか?少人数のグループレッスンです

■期間: 前期4月3日~7月17日

後期9月4日~12月18日, 3月4日~11日

■日時: 毎週水曜日 18:30~20:00

■場所: 県民福祉プラザ(青森市中央3-20-30)

■クラス: 初級/中級

■受講料: 400円/回

■テキスト代: 初級/2,700円、中級/3,024円

■お申込み・お問合せ先: 代表 蝦名さん

TEL/FAX: 017-782-1171 E-mail: sh-ebina@dp.u-netsurf.ne.jp

※受講・見学をご希望の方は、事前にご連絡ください。



*あomorい県民カレッジ
単位認定講座です

●青森中国語の会

*中国語教室(春期・秋期・冬期の年3期開講)

■期間: 春期5月4日~7月20日 秋期9月14日~11月23日
冬期1月4日~3月14日

■日時: 毎週土曜日 初級13:30~15:20/中級15:30~16:40

■場所: 青森県立図書館4F研修室(予定)

※変更する場合があります。

■受講料: 3,000円/10回を予定 ※会員は2,000円

■年会費: 2,000円 ※3期受講の場合、入会するとお得です。

■お申込み・お問合せ先: 事務局長 佐藤さん

TEL/FAX: 017-742-7057 携帯: 090-7070-4059

※開講場所へ直接来ての申込みや、見学もできます。

※途中からの受講もできます。

●バックナンバーについて

国際交流ラウンジに設置している「The Japan Times(英字新聞)」のバックナンバーを、ご希望の方にお譲りしております。

なお、数に限りがございますので、利用目的を勉強などにお役立ていただける場合に限りさせていただきます。

ご希望の方は直接国際交流ラウンジまでお越しください。

公益財団法人青森県国際交流協会

International Association of Aomori Prefecture

国際交流ラウンジ/International Lounge

〒030-0803 青森市安方1丁目1-40 青森県観光物産館アスパム2F

ASPAM BLDG. 2F, 1-1-40, Yasukata, Aomori-shi.

Post-Code: 030-0803

TEL: 017-718-5147 FAX: 017-735-5148

E-mail: lounge_supporter@kokusai-koryu.jp

事務局/Office

〒030-0803 青森市安方1丁目1-40 青森県観光物産館アスパム7F

ASPAM BLDG. 7F, 1-1-40, Yasukata, Aomori-shi.

Post-Code: 030-0803

TEL: 017-735-2221 FAX: 017-735-2252

E-mail: info@kokusai-koryu.jp

Website: <http://www.kokusai-koryu.jp>

f <https://www.facebook.com/aomori.kokusai.koryu>

t <https://twitter.com/aomorikokusai>

・国際交流ラウンジカウンター(4/1~)

受付時間/10:00~18:00

休日/毎週月曜日

(祝日の場合は、
火曜日振替休日)

・アスパム休館日

12月31日、

1月第4週月~水曜日
(予定)

